

北海道花き・野菜技術研修では、研修の効果的な実施に向け、
快適な研修生活を過ごしていただけるよう、
研修専用の「ほ場」「温室」「ハウス」や「研修寮」を整備しています。



ほ場・温室・ハウス



研修寮



☞ 部屋(全室個室)



☞ 食堂

花・野菜技術センターの
位置およびアクセス



滝川市街より東北東に約8km。
滝川市の東端に近い。

JR・バス利用

JR 札幌駅	JR 特急	JR 滝川駅	中央バス (芦別方面)	バス停 (バス停「花・野菜技術センター入口」下車)	徒歩
	約60分	約20分			15分 (1km)

車利用

札幌IC	道央自動車道	滝川IC	国道38号 (芦別・富良野方面)
	約60分 (約81km)		約5分 (約4km)

花・野菜
技術センター

北海道花き・野菜総合技術研修

令和7年度 研修生募集

花・野菜
育てるチカラを育てます

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部
道総研 花・野菜技術センター

住所 〒073-0026 北海道滝川市東滝川735番地

TEL 0125-28-2211 FAX 0125-28-2299

URL https://www.hro.or.jp/agricultural/research/hanayasai/organization/00fukyu_gro/0300kensyu_gro.html



令和7年2月末締切
研修費用 **無料**
研修寮完全個室
(宿泊費用無料)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
道総研 農業研究本部

花・野菜技術センター



研修の目的 花・野菜技術センター

全国各地の消費者に届けられる道産の花きや野菜は、本道農業の戦略作物として一層の発展が期待されています。

花・野菜技術センターでは、本道の気候や土壌にあった「品種」や「生産技術」の開発を行うとともに、「開かれた農業試験場」として、成果の迅速な普及定着や生産を担う人材の育成を目的に「北海道花き・野菜技術研修」を行っています。



総合技術研修 花き・野菜の栽培技術をじっくり学びたい方を支援します。

特長

- ❖ 専用のほ場・温室を使って、栽培から収穫まで実践的に学べます。
- ❖ 6か月間のカリキュラムで、講義・実習・演習・視察研修により段階的に基礎理論から実践技術まで習得できます。
- ❖ 経験豊富な本センター研究員をはじめ、第一線で活躍中の技術指導者が講師を担当。基礎から最新の技術まで幅広く学べます。少人数制なので、きめ細かく丁寧な指導が受けられます。

受講コース

❖ 花きコース ❖ 野菜コース

研修期間

2025年4月～2025年10月

※希望品目の試験栽培が可能です
※経験・資格は不要です
※ご相談に応じて研修期間の変更も可能です

募集人数

両コース合わせて10名

研修の主な内容

講義

主要作物の栽培技術、土壌肥料、病虫害防除、花き・野菜の鮮度保持、経営管理、営農に必要な各種制度など

実習

ほ場・ハウス等での作物栽培、パイプハウス組立など

演習

主要作物の栽培技術、土壌分析調査、病虫害診断、雑草防除など

視察研修

花き・野菜優良農家、卸売市場、集出荷施設など



総合技術研修の実施スケジュール（二例）

項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	備考
開講式		○							
講義	各品目、土壌肥料、病虫害、資材、経営等の基礎	○					○		基本的に期間前半に実施しますが、内容等に応じて適期に実施します。
演習・実習	播種・育苗	○		○					品目により苗作り後定植するもの、畑に直接播種するもの等様々です。
	定植作業	○		○					品目によっては移植機も使用します。
	栽培管理	○					○		自分たちで進行管理しながら進めます。
	収穫・調査	○					○		各品目に応じ適期収穫、調査を実施。
	その他演習	○					○		土壌分析、パイプハウス組立等。
	報告書作成						○	○	調査結果をまとめ、報告書を作成します。
視察研修	卸売市場、集出荷施設、生産農家等			○			○		月1回程度を予定しています。
自主栽培※	計画立案、栽培・収穫調査	○					○		計画立案から栽培・収穫調査まで自主的に行います。
	報告書・発表資料作成、報告会実施						○	○	報告書作成と合わせ、まとめた成果を報告会にて発表します。
修了式								○	

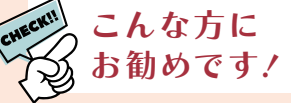
※研修生自らが選定した作物を栽培し課題研究を行います

専門技術研修 花き・野菜生産のスペシャリストづくりを支援します。

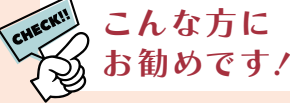
花き・野菜生産に関する高度な専門技術を有する生産者や指導者の養成を目的に、研究員などによる濃密な個別指導を通じて、課題解決や各種技術習得を図ります。

特長

❖ 1年以内の期間で、学びたい項目や指導体制を考慮し、開始時期や期間を決定します。



- ❖ 既に営農されており、今後、新たな品目・品種の導入を検討されている生産者の方
- ❖ 地域農業技術センターや農協等で技術指導をされている方
- ❖ 大学や専門学校等で農業を専攻された農業後継者の方



- ❖ 花き・野菜生産を目指す農業後継者（Uターン、新規学卒者）の方
- ❖ 新規就農（予定）者（認定就農者の手続中の方や農家研修前の方を含む）の方